

「戻る」を選んだあなたの声を聞かせてください—

Voice1 きっかけは、故郷の味

東 京で働いているときに出張で会津若松に来ることがあり、いま働いているこの店で焼肉を食べたんです。私にとっては昔から慣れ親しんだ馬肉の焼肉でしたが、一緒に食べた同僚が絶賛してくれました。会社を辞めるときにそのことを思い出し、この味に可能性を感じました。飲食業という未知の世界での1からのスタートに不安はありましたが、挑戦してみたいという気持ちの方が大きかったですね。

高 校時代は気付けなかったですが、このまちの魅力は、身近に豊かな自然があることだと思います。近所を散歩するだけでもリフレッシュできるので、都会での生活に疲れた人の受け皿になると思いますよ。また、会津若松市は、東京から車や電車で行くことができる距離です。移住や定住はハードルが高いと感じる人も、暮らしの拠点の1つとして、二地域居住などをお勧めしたいですね。



佐久間さんが利用した移住支援金の詳細はこちらから(P5でも紹介)

▶▶Uターン × 就職



会津若松市役所 勤務

江川 美咲さん

会津若松市生まれ。市内の高校を卒業し、県外の大学に進学。令和7年4月にUターン。

▶▶Uターン × 就職



呑喰処 蔵の店(行仁町) 勤務

佐久間 航さん

会津若松市生まれ。市内の高校を卒業後、進学で上京し、就職。令和6年9月にUターン。

Voice 2 穏やかな会津で暮らしたい

母 が地域のまちづくり活動をしていた影響もあり、高校生のころから、まちづくりに興味がありました。進学で一度は離れましたが、都会での生活は忙しくて……。穏やかな会津で暮らしたい、会津で働きたいと考え、戻ることを決めました。今は市役所で福祉に関わる仕事をしていますが、お客様と話しているときに大学で学んだことが生かしているなど感じることがあります。仕事は忙しくて大変ですが、充実していますね。

4 年ぶりに戻ってきて感じたのは、新しいお店が増え、まちに活気が戻ってきていることです。また、会津は米や野菜、水がおいしく、何より、住んでいる人が温かいのが魅力ですね。私の住んでいる地域では、普段から地区の人が気軽に声を掛けてくれます。私にとっては子どものころから当たり前だったことですが、そうした温かい地域の魅力を盛り上げていけたらいいと考えています。

地元に戻って、市役所で働きませんか？

市職員の採用試験では、民間企業や官公庁などで5年以上の職務経験がある人などを対象とした「社会人経験者採用枠」を設けています。

図人事課(☎39-1213)



特集 Uターン移住

あなたの「戻ろうかな」を「暮らし」につなげる

おかえり、わかまつ。

会津若松に戻って暮らしてみませんか？

近年、結婚や子育て、転職などをきっかけに、ふるさとへUターンする若い世代が増えています。

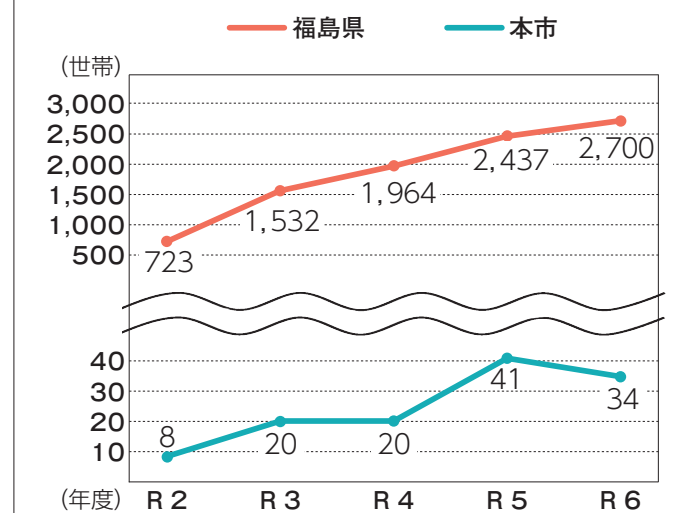
また、テレワークなど時間や場所に縛られない働き方の選択肢が増えたことで、首都圏から地方への移住に関心が集まっています。

Uターンを含む移住者の増加は、地域産業の担い手の確保や地域経済の活性化、さらに地域コミュニティの維持などにもつながります。

子どもの帰省や親戚が集まる機会が増えるこれらの時季、会津若松へのUターンを含む移住について、家族で話し合ってみませんか。

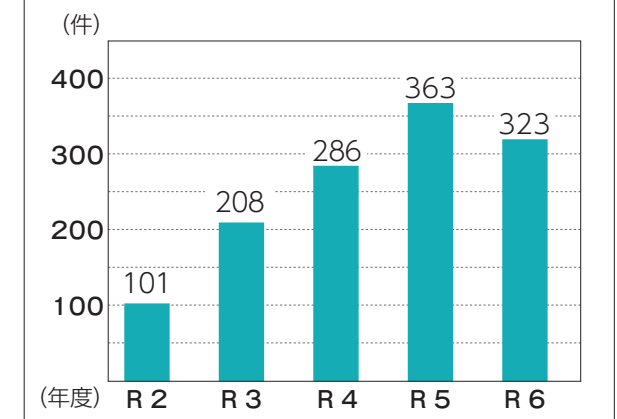
●問い合わせ：シティプロモーション課(☎39・1202)

移住世帯数の推移



※県の数値は、各市町村からの報告により把握した世帯数
※市の数値は、市定住・二地域居住推進協議会での取り扱い件数

本市への移住相談件数の推移



※交流会やセミナー参加者も含む

市定住・二地域居住推進協議会のホームページ



移住支援制度

支援制度の利用には要件があります。移住前にご相談ください。住所の異動が要件になることもありますので、住民票が実際に住んでいる住所地にあるか確認しましょう。



準備する— 就活や住まい探しなど、移住の準備のために市内を訪問するときに

交通費

【基準額】
▶東京都から訪問…8,000円
▶神奈川県から訪問…1万円
※県の補助事業。1年度1回まで

レンタカー利用料など

レンタカー、シェアカー、タクシーの利用料を補助(★)。
▶上限…1日あたり5,000円※2日間の利用まで。1年度1回まで

宿泊費

宿泊費の1/2以内を補助(★)。
▶上限…1泊2,500円※県の支援制度と併用した場合は1泊5,000円。1年度1回まで

★…「交通費」の補助を利用した人が対象

移住する— Uターンや孫ターン(祖父母が住む地域への移住)などをする人に

東京圏からの移住(移住支援金)

東京23区内に5年以上居住または通勤・通学していた人が移住し、就業などの要件を満たした場合に支給。
▶単身…60万円
▶2人以上の世帯…100万円
※18歳未満の子ども1人につき100万円加算

県外からの移住(Uターン等移住給付金)

40歳以下で県外に3年以上居住していた人が移住し、就業などの要件を満たした場合に会津コインで支給。
▶単身…20万円
▶2人以上の世帯…30万円
※Uターンや子育て世帯は各10万円加算

*会津コイン…会津地域内で使えるデジタル地域通貨

暮らす— 就活や住まい探し、結婚など、移住後の生活を考えるときに

住宅取得支援

40歳以下で県外から移住し、市内の住宅(新築・中古)を取得した場合に支給。
▶上限…70万円※県の支援制度と併用の場合は170万円

空き家改修

会津地域外から移住し、市内の空き家をリフォームした場合に支給。
▶上限…100万円

学生支援(地方就職支援金)

東京圏内の大学などを卒業し、県内企業に就職する学生に採用選考のための交通費や移転費を支給。

就農支援

市外から移住し、就農を希望する場合に、研修や就農時の補助、家賃の一部を補助(未来ファーマースタート支援事業)。

奨学金返還支援

県外から移住したか、市内の大学などを卒業した30歳以下の人が、市内に本社がある事業所などに就業した場合に支給。
▶上限…月1万5,000円※最大5年間

結婚支援

夫婦共に39歳以下の世帯の結婚に伴う住宅取得やリフォーム、賃貸住宅の家賃などを補助。
▶上限…◎夫婦共に婚姻日時点の年齢が29歳以下の世帯=60万円
◎その他の世帯=30万円

相談する— 会津若松での暮らしに興味があったり、移住を検討したりするときに

市内での相談窓口

シティプロモーション課
会津若松市役所本庁舎4階
(☎0242-39-1202)



首都圏での相談窓口

ふくしまぐらし相談センター
東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館内(☎03-6551-2989)



「戻る」を選んだあなたの声を聞かせてください—

Voice 3 新しいことに挑戦したい！

進学で地元を離れ、一度は就職しましたが、「経営に携わりたい」「チャレンジするなら若いうちだ」という思いから、地元に戻って起業することに決めました。農業は家業でしたが、自分が農家になるとは想像していませんでした。でも、戻った当初、実家の農業を手伝ううちに農業の楽しさを知り、農業で起業しようと決めました。知り合いの農家に相談したり、市の補助制度を使ったりして、今は長ネギと青紫蘇を中心に、有機栽培で育てています。

高校時代の友人は、県外で働いている人が多いですが、今はそのころとは違った友人も増えました。また、成人して気付きましたが、会津のお酒はおいしいですね。これも、地元に戻って気付いた会津の魅力です。今年は、農業用ドローンや自動操舵トラクターの導入を考えています。栽培規模を広げたいのはもちろん、効率的な農業も取り入れて、経営を強化したいですね。

就農を応援します！

市では、移住して就農を希望する人へ、研修や就農時の補助、家賃の補助などを行っています。興味のある人はお問い合わせください。
農政課(☎39-1253)



▶▶Uターン × 就農



よこやま農園 代表

横山 大地さん

会津若松市生まれ。県外の大学に進学し、県外で就職。平成28年4月にUターン。

▶▶U・Iターン × 起業



カフェ・バル こぐま亭(中町)

(左から) 北向 絵美さん・良太さん

会津若松市生まれの絵美さんと青森県八戸市生まれの良太さん。結婚・出産後、令和6年8月に移住。

Voice 4 のびのびと子育てを

出産を機に地方で暮らすことを考えました。東京で子育てをしていたときは、子どもを連れての電車移動に苦労したり、自宅近くの保育園に空きがなかったりと、大変なことが多かったです。豊かな自然を子どもにも見せたいと思い、移住を決めました。ここでは、子どもを連れてしていると話しかけてくれる人もいて、人が優しいと感じますし、子どもがのびのびと過ごせると思います。また、移動手段が車中心なので、電車時間を気にせずに済みますし、子育て中は荷物も多くなるので、車移動はありがたいですね。(絵美さん)

東京で飲食店に勤めていて、独立を考えたときに地方への移住も考えました。店では会津の食材を使った料理や会津の地酒を提供しています。会津は、米や野菜といった食材もおいしいですし、特にお酒は、会津の魅力の1つだと思います。最近は、移住してきた人がお店に来てくれることも多いですよ。(良太さん)



北向さんのお子さんがモデルのお店オリジナルのコースターも人気です